

令和4年10月7日

総合型選抜（教員養成特別入試） 講義

講義タイトル 「戦争と国家・社会：ウクライナ戦争を通して考える」

要旨

人類の歴史は戦争と切り離すことができない。事実、今年2月に始まったウクライナ戦争は終息に向かうどころか泥沼の様相さえ呈しつつある。このような戦争状況に際し、我が国の将来を担う人材を育成することを任務とする教師、ならびに教育現場はどのように対応すべきなのだろうか。むろん、「戦争の悲惨さ」を子供たちに訴えることの重要性は言うまでもないが、そうした表層的な次元にとどまらず、戦争を多面的な事象として捉えることも必要となろう。そのためには、国際事情を読み解くためのセンスが求められるが、本講義はウクライナ戦争を題材として、そこから浮かび上がるロシア国家の特質を歴史的側面から解説することを目的とし、講義終了後のグループ討論の呼び水とする。